

2021年6月24日

各 位

ケネディクス・オフィス投資法人  
ケネディクス不動産投資顧問株式会社

**第 32 期（2021 年 4 月期）決算説明資料の一部訂正について**

第 32 期（2021 年 4 月期）決算説明資料を別紙のとおり訂正しました。

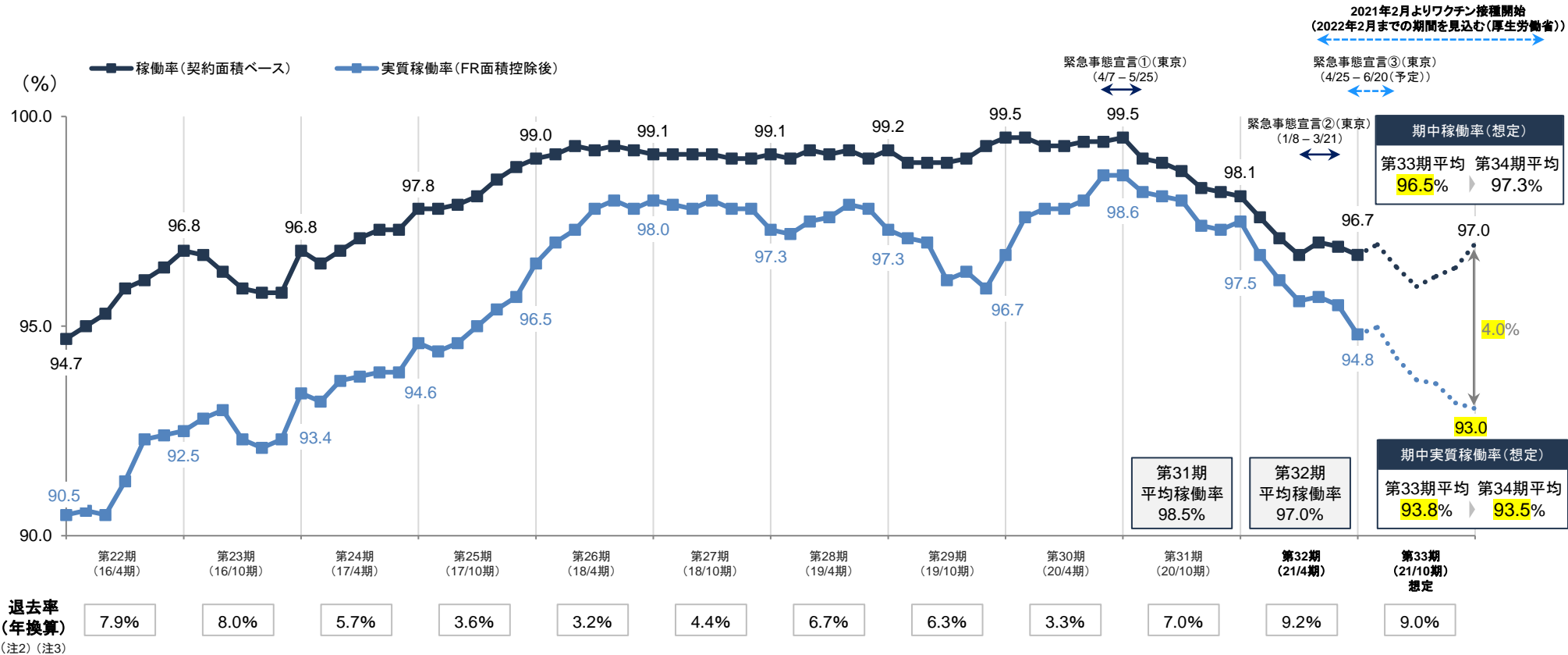
具体的な訂正箇所はイエローハイライトの部分となりますのでご参照ください。

以 上

# オフィスビルの稼働率と退去率の推移

・新型コロナウイルスの収束が遅れ、高水準の解約と稼働の低下が継続するも、ワクチン接種の広がりと共に緩やかな回復を見込む

## オフィスビル稼働率及び退去率(年換算)の推移(注1)



注1: 稼働率(契約面積ベース)は賃貸面積(契約ベース)を、実質稼働率(FR面積控除後)はフリーレント対象面積を控除した賃貸面積をそれぞれ賃貸可能面積で除して得られた数値を記載しており、小数点第2位を四捨五入して記載しています。期中平均(実質)稼働率は、本投資法人の保有するオフィスビル全体の各期中における月末時点(実質)稼働率の単純平均です。なお、第33期(21/10期)と第34期(22/4期)の期中平均(実質)稼働率は、収益予想の前提としている数値を記載しています。

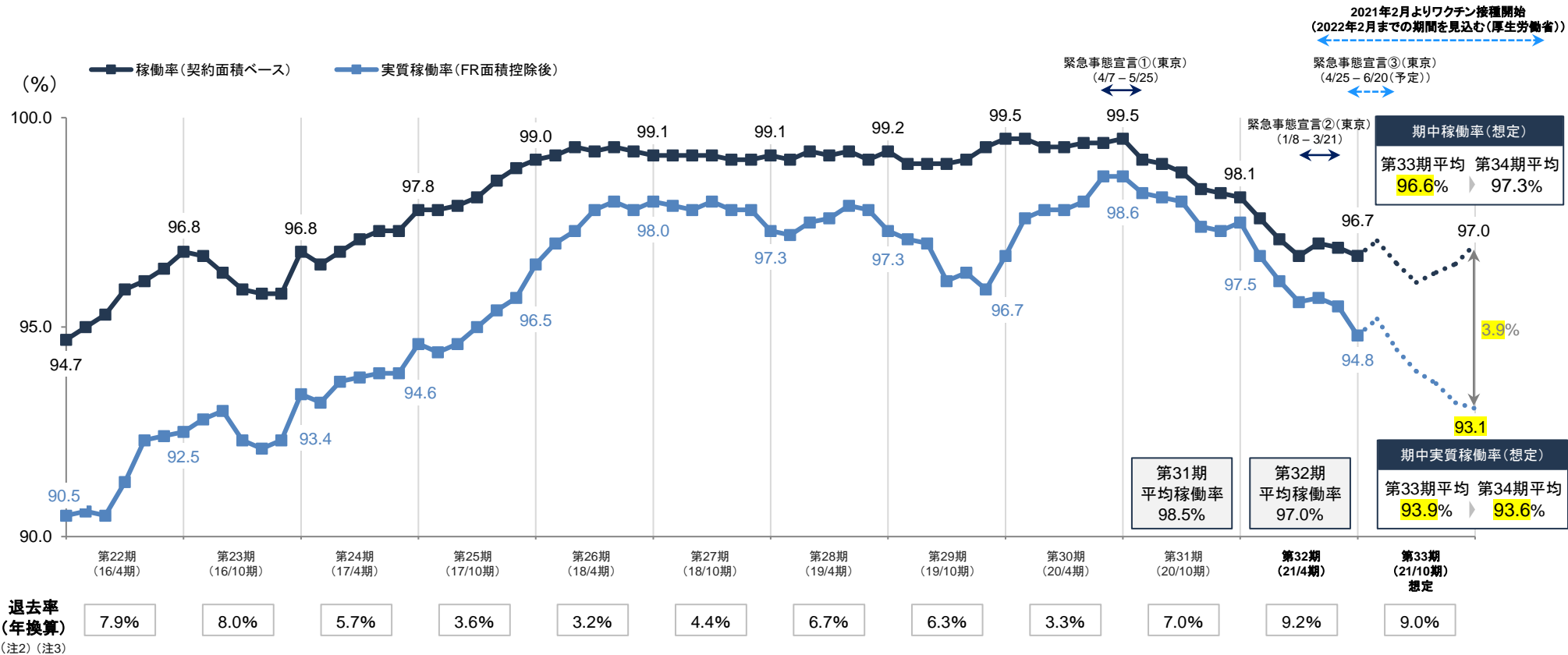
注2: 退去率は、各期の初日から末日までの6ヶ月間に賃貸借契約を解約したテナントに係る賃貸面積の合計を各月末時点での本投資法人の保有するオフィスビル全体の賃貸可能面積の合計の平均値で除して得られた値を2倍し、年率換算した数値を算出し、小数点第2位を四捨五入して記載しています。

注3: 第33期(21/10期) 想定 退去率は、2021年5月31日までに受領した解約予告等に基づく想定値です。

# オフィスビルの稼働率と退去率の推移

・新型コロナウイルスの収束が遅れ、高水準の解約と稼働の低下が継続するも、ワクチン接種の広がりと共に緩やかな回復を見込む

## オフィスビル稼働率及び退去率(年換算)の推移(注1)



注1: 稼働率(契約面積ベース)は賃貸面積(契約ベース)を、実質稼働率(FR面積控除後)はフリーレント対象面積を控除した賃貸面積をそれぞれ賃貸可能面積で除して得られた数値を記載しており、小数点第2位を四捨五入して記載しています。期中平均(実質)稼働率は、本投資法人の保有するオフィスビル全体の各期中における月末時点(実質)稼働率の単純平均です。なお、第33期(21/10期)と第34期(22/4期)の期中平均(実質)稼働率は、収益予想の前提としている数値を記載しています。

注2: 退去率は、各期の初日から末日までの6ヶ月間に賃貸借契約を解約したテナントに係る賃貸面積の合計を各月末時点での本投資法人の保有するオフィスビル全体の賃貸可能面積の合計の平均値で除して得られた値を2倍し、年率換算した数値を算出し、小数点第2位を四捨五入して記載しています。

注3: 第33期(21/10期)想定退去率は、2021年5月31日までに受領した解約予告等に基づく想定値です。